

## 多和目城跡(坂戸市)

前方の山頂に多和目城跡がある



手前は運動公園となっている



正面に説明板がある





### 多和目城 (田波目城) 埼玉県選定重要遺跡

ち 築城の時代も知らぬ多和目城



坂戸市文化かるた

多和目の地名は古文書にもでてきますが、多和目城は誰が、いつの時代に築いたか、確かな資料は伝わっていません。今も、城跡の土塁と空堀が残っていて、敵の侵入を防いだ構造や、城跡の広さなどが推定できます。

多和目城は、坂戸市多和目の城山の頂にあります。市内で最高位を示す標高一一三mの丘陵上の平地を利用して築かれた中世の城跡です。城跡の南側は険しい断崖となつて、眼下には高麗川が流れています。現在は、南側の崖を除き、土塁と空堀が城の周囲を囲っていて、その規模は、東西一一〇m、南北六五mの長方形になります。土塁の一部が折れ曲がつて周囲が平らな部分(腰曲輪)があり、敵の侵入を防御する構造になっています。

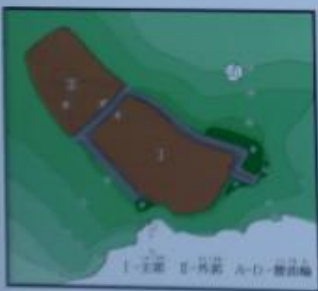
この城の歴史は、よく分かっていませんが、狭山市柏原の長谷川家に伝わる、江戸時代の安永八年(一七七九年)に書かれた記録には、「田波目大かけ城」を河越城主の扇谷上杉氏が攻めています。この記録は、室町時代の大水四年(一五二四年)に、河越城主の扇谷上杉氏が毛呂城を攻めたときのことを、伝承として書きとめたものでしょう。「大かけ」と地理的な特徴を伝え、田波目と地名が一致することから、多和目城を指している可能性も考えられ、興味深い資料です。



昭和四七年(一九七二年)に城山配水池の建設に伴い、土塁の一部を調査しました。土塁の内側には、建物の一部と思われる多くの柱穴と、縄文時代中期の住居址を三軒発見しました。

平成二十年二月

坂戸市教育委員会



多和目城概念図

ここから登る  
↓



多和目城概念図









ここを登って行く





左下方向を見る



右下方向を見る



左上方向を見る



右上方向を見る



頂上に近づく/前方に土墨跡のような雰囲気がある













右に折れて歩くとすぐフェンスが見える







何とここは坂戸・鶴ヶ島水道事業団の水道施設であった





そのために整備された通路であった



木々の中の状態/この辺りは主郭であろうか



さらに通路を進んでみる





この辺りにも土墨跡のような高まりがある





この先を行くと「午の沢湿地」であろうか



元に戻る





こう見ると明らかに土塁跡の雰囲気



最初の地点に下りて行く





説明板の場所まで下りてくると運動公園が見える



次にぐるっと回って高麗川の対岸から山頂を見る



左手に見える送電線鉄塔のやや右側付近が「水道施設」があったと思われる



# 106 田波目城

種別 城(山城)  
 所在地 入間郡坂戸町多和目城山  
 交通の便 東武東上線(越生線)西大  
 家駅下車約5km  
 土地所有者 私有地

立地・形態・面積 山頂 不規則 6600m<sup>2</sup>(20  
 00坪)

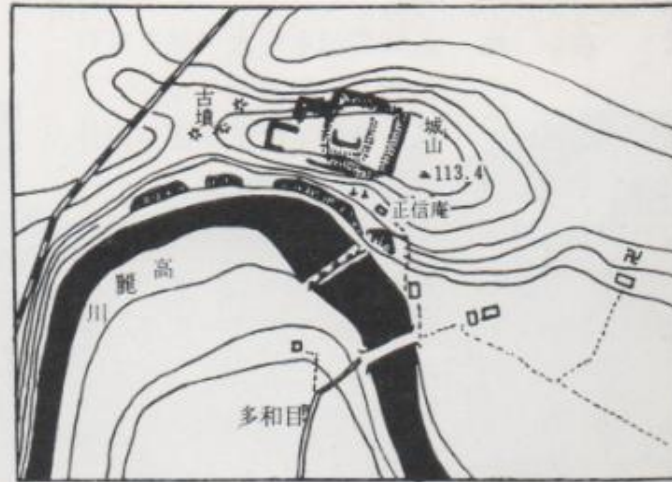
遺構 土塁はよく残っている。堀  
 なし。

築造年代 不明

城主・居住者 北条友衛門佐氏堯

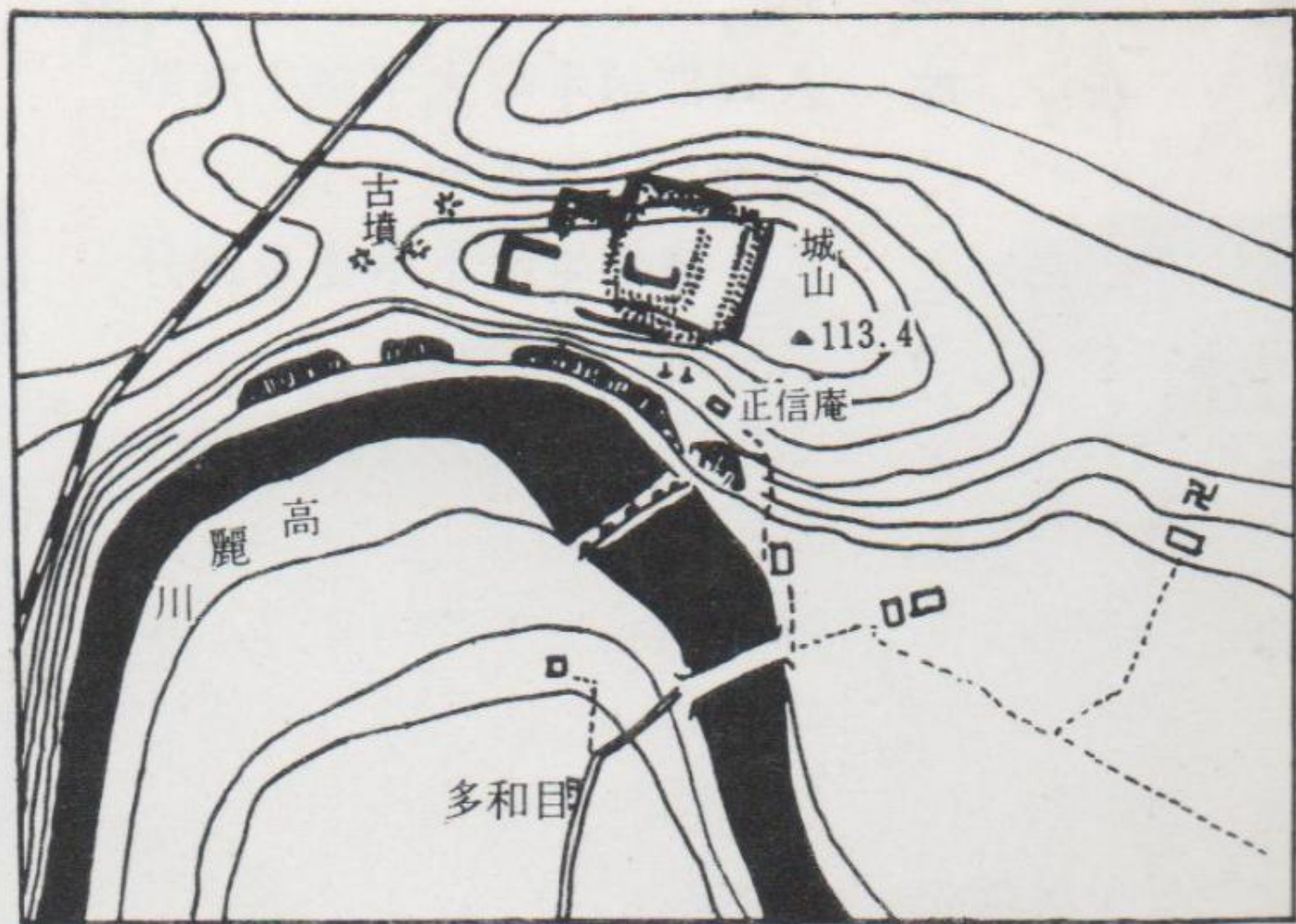
文献・絵図 新編武蔵風土記稿(公刊)北条役帳 日本城郭全集4(公刊)

伝承・記録 「北条役帳」に「田波目葛貫百四十六貫百三十六文 左衛門佐殿」とあり、田波目葛貫は北条左衛門佐氏堯の知行地であった。田波目城は氏堯の持城であったと思われるが不明。



田波目城概略図

「埼玉の館城跡」より



田波目城概略図





インターネット「余湖くんのお城のページ」より

参考ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/sakadosi.htm>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/subdir-siropage/tabamejou.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/3461694/>



